

## 【研究ノート・資料】

## バンクーバーの韓人社会と日韓関係メモランダム

小 針 進

## はじめに

バンクーバーはカナダのブリティッシュ・コロンビア州（以降、BC州とする）にある海洋都市で、バンクーバー大都市圏（グレーター・バンクーバー）といわれる郊外を含めた人口は200万人規模である<sup>1)</sup>。太平洋側にあるため、アジアの玄関口になっている。ここでは日本人、韓国人、中国人などアジア系の人々を容易に目にすることができる<sup>2)</sup>。移民、観光客、語学留学生、駐在員など、そこに暮らす形態は様々だ。

地元の有力英字紙『プロビンス (The Province)』は「韓国からBC州に大挙流入。移民の波、バンクーバーの天候と環境が引き寄せる主因」(2005年2月21日付)といった特集記事を掲載した。同紙によれば、BC州での韓国からの移民人口は1991年が8,000人であったところ、2001年には28,105人と10年間で3.5倍に急増したという<sup>3)</sup>。

本稿の第一の目的は、韓国からの移民社会の一端を描くことである。統計的な分析と移民へのインタビュー（オーラル・ヒストリー）を中心とする。カナダにおける日本人や中国人の移民に関しては多くの業績があるが<sup>4)</sup>、韓国人に関してはあまりない。また、在外韓国・朝鮮人 (Overseas Korean) への研究の視点からも、在米韓人に関

1) 2001年の人口センサスによれば、グレーターバンクーバー圏の全人口は1,986,965人である。Canadian Global Almanac 2005 (Toronto, John Wiley and Sons Canada, 2004), p53.

2) カナダ移民局の統計によれば、2003年のBC州の流入移民のうち72.8%がアジア系である（カナダ全体では43.7%）。Citizenship and Immigration Canada: Facts and Figures 2003 Immigration Overview, <http://www.cic.gc.ca/english/pub/facts2003/permanent/index.html>

3) David Carrigg and Charlie Anderson. 'South Korean influx soaring in B.C.' *The Province* (Vancouver), Feb.21,2005

4) 本稿執筆においては、たとえば以下を参照した。飯野正子『日系カナダ人の歴史』（東京大学出版会、1997年）、Peter S.Li, *The Chinese in Canada* (Toronto, Oxford University Press Canada, 1998).

するものは多数あっても、在加韓人に関しては韓国本国においても目ぼしいものがない<sup>5)</sup>。ここでカナダに移住した新旧の韓人<sup>6)</sup>移民の証言を記録しておきたい。ここで彼らの対日観にも焦点をあててみた。

第二の目的は、英語学習のために同地に滞在する日本人と韓国人の留学生の日韓相互意識をさぐることである。カナダのどこの語学学校でも日本人と韓国人の割合が多いから当然なのだが<sup>7)</sup>、いろいろな国籍の学生がいるなかで、おしなべて日本人と韓国人の組み合わせで仲良くなるケースが目立つようだ。そして、日韓どちらの留学生もカナダを留学先に選んでいるのだから、どちらかというところ「欧米志向」の若者なのだが、日本人は親韓的になるし、韓国人は親日的になる。ある語学学校に通う留学生たちを日韓別々に分けて、韓国人だけで「日本・日本人」をテーマにするフォーカス・グループ・インタビュー(FGI、焦点面接法)を、日本人だけで「韓国・韓国人」をテーマにする座談会をそれぞれ開いた。ここではそれを記録しておきたい。

なお、筆者は静岡県立大学から在外研究の機会を与えられ、2005年2月から3月にかけてバンクーバーに滞在した。本稿での記録は、この際の聞き取り調査が中心であり、本文では聞き取りの日時は示さないことにする。

## 1. 統計から見たカナダの韓人

### 1.1 韓人移民と留学生

カナダにはどのような形態で韓人が滞在しているのだろうか。

韓国の外交通商部の集計(2001年末現在)によれば、「在外同胞」はカナダ全体で140,896人に及んで、そのうち半数以上が在トロント総領事館管内(84,525人)に居住し、

5) 在外韓国・朝鮮人を総合的に研究した李光奎『在外同胞』(ソウル、ソウル大学出版部、2000年)でも、「在カナダ」に関しては、「在米」に付随する記述にとどまっている。日本では、「在カナダ」に関する研究はほとんどないと思われるが、服部民夫「トロントにおける韓国人社会・覚書」森川眞規雄編『〈同志社大学人文科学研究所研究叢書XXX〉先住民、アジア系、アカディアン—変容するカナダ多文化社会』(行路社、1998年)が、トロントにおける動態を描いており、本稿執筆においても参考とした。

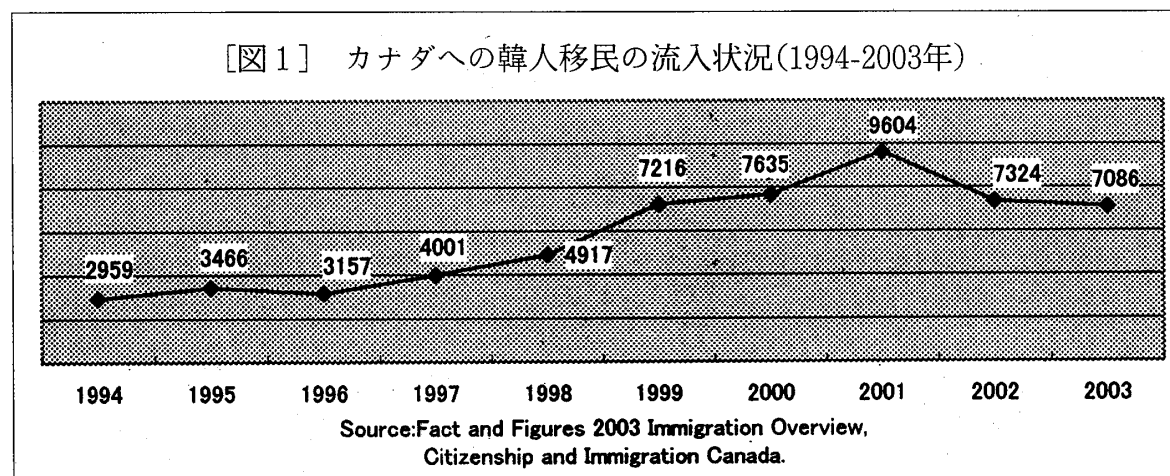
6) 韓国籍を維持している者だけの狭義の意味がある「韓国人」と区別し、現地の国籍(市民権)を得ている者も包括し、コリアン全体を指す次元から「在米韓人」、「韓人社会」のように「韓人」という名称が、米国やカナダに居住するコリアンに対して使われる。本稿でも、原則としてこれを使う。

7) 世界16カ国412校の語学学校が紹介されている季刊誌『留学タイムズ』(第19号、国際教育交流センター、2004年)に掲載の外国人向け英語学校26校のうち、18校が日韓両国からの留学生がそれぞれ学生の国籍別割合で20%を超過しており、15校が日韓両国の留学生を合計すると学生全体の過半数を占める。

## 研究ノート・資料

在バンクーバー総領事館管内には全体の約4割近くに当たる52,288人が住む<sup>8)</sup>。なお、ここで言う「在外同胞」とは韓国籍と居住国（カナダ）の国籍の両所持者を含んでおり、移民だけでなく、在留届を総領事館に提出している駐在員や留学生も含まれていると見られる。韓国から移住してきた者とその家族だけの正確な累計はないが、カナダ全体で10万人、バンクーバーだけで3万人ぐらいとカナダの韓人社会では言われている。冒頭で紹介した『プロビンス』に出ていた数値はこれに近い。

一方、カナダ移民局(C I C)は、移民者(Permanent Resident)としてカナダに入国する者の国別(渡航元)の数値(年間)を発表している<sup>9)</sup>。韓国からの年別推移(1994～2003年)は、[図1]の通りである。94年から96年までは3千人前後だったが、97年に4千人を突破し、1万人近くとなる01年まで増加傾向を見せた。02年と03年は7千人余りと安定してきている。97年から01年まで急激な増加傾向を見せたのは、韓国が通貨危機(97年)に見舞われ、海外移民が急増するなど社会離脱現象が見られたからである。



[表1] カナダへの移民送出国のベスト3と韓国の順位の推移(1994-2003年)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
1位	香港	香港	香港	香港	中国	中国	中国	中国	中国	中国
2位	フィリピン	インド	インド	インド	インド	インド	インド	インド	インド	インド
3位	インド	フィリピン	中国	中国	フィリピン	パキスタン	パキスタン	パキスタン	パキスタン	パキスタン
韓国	18位	17位	15位	11位	8位	5位	5位	5位	6位	5位

(出所) 図1に同じ

8) 『在外同胞現況 2003』(ソウル、外交通商部、2003年)

9) 注2の資料に同じ。

〔表1〕は、カナダへの国別移民者数（年間）の上位3カ国と韓国の順位である。98年からベストテン入りしており、通貨危機以後、カナダの移民社会において韓人が相対的に目立つ存在になっていることが統計的にも類推できる。

そして、韓人をカナダ社会で目立たせているもうひとつの存在は韓国からの留学生の多さである。C I Cの統計によれば、ここ数年、1年間でカナダに最も多く入国する留学生は韓国からである。1999年以降、韓国、中国、日本の順で上位3カ国を占めるようになった（〔表2〕）。2003年の場合、韓国からの留学生は12,981人で、2位の中国（9,822人）や3位の日本（5,143人）を大きく上回り、各国の総人口比から言ってもその実数の多さがわかる。韓国からカナダへの留学が多いのは、通貨危機後に構造改革が進むなか、英語がますます重要になり語学留学や小中学生からのいわゆる「早期留学」<sup>10)</sup>がブームのような傾向を見せているほか、韓国社会で増す反米的なムードが留学先をこれまで選好されてきた米国ではなくカナダを選ぶようになった側面もあると思われる。

〔表2〕カナダへの留学生送出国のベスト3の推移(1994-2003年、人)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
1位	日本 3,891	日本 4,621	韓国 7,915	韓国 8,517	日本 5,509	韓国 6,432	韓国 10,738	韓国 13,435	韓国 13,872	韓国 12,981
2位	米国 3,323	韓国 4,275	日本 5,650	日本 5,838	米国 4,151	日本 5,761	中国 6,055	中国 10,609	中国 11,159	中国 9,822
3位	香港 2,202	米国 3,550	米国 3,741	米国 3,941	韓国 3,688	米国 4,561	日本 5,609	日本 6,456	日本 5,875	日本 5,143

(注) 1994年の韓国は7位で1,398人。

(出所) 図1に同じ。

カナダの都市のなかで、留学生が最も多いのはバンクーバー(2003年は14,854人が流入)であり、人口規模が倍以上のトロント(同12,087人)よりも多い<sup>11)</sup>。それぞれの都市での国籍別データがないので、韓国からの留学生がどの程度いるかはわからない。ただ、各語学学校の学生の国籍別割合は、バンクーバーの場合、前述したように韓国が20%を超えるものが多い。バンクーバーにおける韓国のプレゼンスは小さくないのである。また、カナダを訪れる韓国からの観光客は増加傾向にあり<sup>12)</sup>、バンクーバー

10) 子供の英語教育のため、妻は子供とともに米国やカナダで外国生活し、夫は仕事のために韓国に残って生活するという家族別居状態が韓国社会で問題化している。こうした離ればなれの家族のことを「キログ家族」と言う。「キログ」とは韓国語で雁の意味である。

11) 表2の資料に同じ。

で韓国を目立たせるもうひとつの要因になっている。

## 1.2 在バンクーバー韓人移民の職業

バンクーバーには、北米でも有数の規模を誇るチャイナタウンがある。バンクーバーにおける中国人社会の影響力は大きい<sup>12)</sup>。韓国のプレゼンスも大きいと言うならば、コリアンタウンもありそうなものだが、チャイナタウンに匹敵するようなものはない。バンクーバーのダウンタウンに隣接するキングスウェイ (Kingsway) 沿いには韓人が経営する飲食店やその他の商店が比較的多く、そこが韓人の集住地区的要素を帯びていた。ところが、近年はダウンタウンから電車スカイ・トレインで東に向かって20分ほどのロウヒード・タウン・センター駅 (Lougheed Town Centre Station) 近くのノースロード (North Road) 沿いに韓人の姿が目立つ。ここは行政区域としてはバンクーバーから外れるが、グレート・バンクーバー圏内のバーナビー (Burnaby) にある。

ここに韓人が多くなったのは、1998年9月に「漢南スーパー」という韓国から直輸入した食材や生活用品を売る郊外型の大型量販店ができたことが大きい。この大型スーパーの周りには韓人経営の他の商店や飲食店が誕生し、高層住宅には韓人が住むようになった模様だ。ソウルの本社とも連携する『中央日報』、『朝鮮日報』、『韓国日報』といった韓国全国紙のバンクーバー版の取材・編集するバンクーバー支局もここにある。2004年には「漢南スーパー」の真正面に「ハナルム・マート」という名の同様なスーパーが誕生し、この地区がコリアンタウンのような雰囲気を持ち始めている。

それでは、バンクーバーの韓人はどのような職業に就いているのだろうか。その手がかりになる資料として、社団法人バンクーバー韓人会が年に一度発行している『韓人録 (Telephone Directory of Korean Canadians in British Columbia)』がある。同書の「2004～2005年版」は総476ページだが、64ページまでが韓人会組織機構図・役員名簿、カナダ市民権申請案内、医療用語英韓対称表など、65から184ページまでが「韓人住所録」、185から208ページまでが「老人会住所録」、209から476ページ

12) 2004年12月は前年同期比でどの国よりも多い21.1%増を記録した(『中央日報(バンクーバー版)』2005年2月18日付)。なお、韓国からの移民は同年第3四半期までに前年対比32%減であった(『朝鮮日報(バンクーバー版)』2005年2月17日付)。

13) See Kay J. Anderson, *Vancouver's Chinatown-Racial Discourse in Canada, 1875-1980* (London, McGill-Queen's University, 1995). Wing Chung Ng, *The Chinese in Vancouver, 1945-80* (Vancouver, UBC Press, 1999)

までが「韓人業者録」で構成されている。

カナダ市民権申請案内には市民権を得る際の当局との想定問答集まで掲載され、「韓人住所録」にはグレーター・バンクーバー圏内に住む4,522人の韓人の氏名・住所・電話番号がハングルの配列順で載っている。「韓人業者録」には独自の分類による125の業種ごとに各業者(グレーター・バンクーバー圏内)の商号・住所・電話番号が載り、その数は1,644に及ぶ。

これを多い順に一覧表でまとめたものが[表3]である。食堂、教会、不動産、ゴルフ、学院の順が多い。ただ、ここに掲載のすべてが韓人経営によるものかどうかは不明である。たとえば、学院(日本語で言う「塾」や「各種学校」)が76で、うち英語学院が66とあるが、韓人への広告効果を狙って韓人経営でなくても掲載しているものがあるようだ。それでも、韓人がどのような職業を形成しているかの目安にはなる。

民族料理への執着度が強いこともあり、韓人が集まるところで食べ物屋を開くことが最も手っとり早いためか、食堂が一番も多い。そして食堂のなかで「日本料理」が少なくないのも目を引く。これはコリアン・ナイズ化された「日式」と言われる「日本料理」が韓人にとって非常にポピュラーである点を想起させると同時に、ロサンゼルスのコリアンタウンなどでも見られるように、日本人駐在員や観光客向けの日本料理屋が実際は韓人経営のもが多い点を連想させる。また教会の多さも、北米における韓人移民社会の特徴を物語っている。服部民夫はトロントにおける韓人の職業を1996年に分析しているが<sup>14)</sup>、やはり教会が第2位(158カ所)であった。カナダにおいてだけでなく、歴史が長い米国における韓人移民社会でも教会の位置付けは同様に大きい。「理由はどうであれ、教会は米国における韓人移民社会にとっての最大で中心的な施設になってきた。他の施設が韓人移民をサポートしないがゆえに、社会奉仕、教育、韓国語学習、集会や出会い、喜びの場所として、あらゆる役割を教会が果たしてきた」<sup>15)</sup>とされている。

全体的に見て細々した業主が多岐にわたって見られる一方で、不動産やゴルフといった相当額の資金繰りが必要なものが上位にあるものも特徴的である。服部民夫のトロントにおける分析では、1996年という時代であろうが、「クリーニング店」が1位(173カ所)であり、不動産(44)やゴルフ(14)はけっして多くない。トロントは産業都

14) 服部、前掲書、91ページ。

15) Charles Ryu, 'Koreans and Church', Joann Faung Lee, *Asian Americans* (New York, The New Press, 1992), p162.

## 研究ノート・資料

市であるが、[表3]からはバンクーバーが観光都市、消費都市という側面も読み取れると言ってよい。

[表3]バンクーバーにおける韓人の職業(『韓人録2004～2005年版』より作成)

件数	業 種	16	花屋	6	公園墓地・葬祭場	2	カバン
107	食堂(韓国料理 79、日本料理 28)	15	カラオケボックス	6	愛玩動物	2	美容材料
100	教会	15	貿易	5	剣道	2	足マッサージ
88	不動産	14	文具・郵便サービス	5	機械製作・販売修理	2	仏教
77	ゴルフ	14	自動車学校	5	民宿・ホームステイ	2	相談所
76	学院(英語学院 66、その他 10)	13	新聞	5	おかず	2	生活用品
59	留学院	13	化粧品	5	放送	2	神学大学校
49	美容室	12	冷暖房	5	書店	2	薬局
47	建築・設計・設備・木工	12	病院	5	スキンケア	2	運命・哲学院
35	旅行会社・観光	12	自動車ボディショップ	5	航空社	2	両替
32	韓医院・鍼術院	12	会計士	4	ビリヤード・ボーリング	1	ガイド
31	金融(うち銀行 23、投資専門 8)	11	家具・寝具・厨房	4	餅屋	1	空港ピックアップ
31	移民相談	11	弁護士	4	ガラス	1	観光バス
31	コンピューター	11	歯科	4	医療機器	1	陶磁器
29	ホテル・モーテル	10	翻訳・通訳	4	浄水器	1	床装飾
27	健康	10	食品卸売	4	製菓店	1	代替医学
27	食品店	10	楽器・ピアノ	4	ペイント	1	商店賃貸
26	自動車販売	10	商社	4	学校	1	狩猟(個人指導)
24	個人指導(ピアノなど)	9	看板	4	ハングル学校	1	事務用品
23	レンタルビデオ	9	美術学院	4	合気道道場	1	乗馬
23	電話・通信・インターネット	9	室内装飾	3	祈祷院	1	スポーツ・レジャー
21	衣類(販売 16・修繕 5)	9	精肉店	3	フリースクールなど	1	養蜂園
20	保険	8	ゲームセンター	3	宝石	1	衛星放送
20	ギフトセンター・百貨店	8	不動産インスペクター	3	事務機器販売・修理	1	理髪店
20	自動車整備・修理	8	船舶船食供給	3	マンガルーム	1	自動車タイヤ
19	運送・引越	8	眼鏡店	3	食堂資材供給	1	自動車
19	印刷・デザイン	8	画廊	3	額縁	1	電子回路設計・製作
17	写真館・ビデオ撮影	7	農場	3	鍵修理	1	職業紹介所
17	電気・電子販売・修理	7	学習誌・テープ	3	芝刈り機械	1	蒸し風呂ハウス
17	植木屋	7	韓医学大学	3	照明	1	パーティー用品
17	カフェ・茶店	6	結婚イベント	3	タクシー		
17	テコンドー道場	6	警備・保安	3	トロフィー		

## 2. 新旧韓人移民のオーラル・ヒストリー

### 2.1 旧移民

朝鮮半島から米国への移住の歴史は多くの研究業績があるが、カナダへの移住の歴史を体系的に研究したものがほとんどない。日本が朝鮮半島を植民地にする直前の時

期に、ハワイはもちろんカリフォルニアでも韓人移民がいたことが確認されており、その流れからカナダへの渡ったものがあったかもしれない。主要な流れは、韓国が朴正熙政権期の1960年後半以降であり、そして韓国が通貨危機に見舞われた90年代後半以降が先に統計で見たように大きな増加期になっている。

本稿ではカナダへの韓人移民史をまとめることはせず、その作業は次の機会に行ないたいと考えている。ただ、バンクーバーの韓人移民社会では、「旧移民」と「新移民」という言葉が使われることを紹介しておきたい。「旧移民」とは70年代頃に移民した人々とその家族であり、「新移民」とは90年代以降に移民した人々とその家族だ。「旧移民」のなかには農民が新天地を求めて韓国からやって来た場合もあれば、いわゆる「三角移民」と言って当時の西独や南ベトナムなど第三国に滞在していた韓人がカナダに来たケースもある<sup>16)</sup>。「新移民」は韓国で構造改革が進むなかで社会離脱した人が多いだけに、高学歴で相当の資金を持ってやってくる場合が多い。

カナダへ移民する方法には以下の5つのカテゴリーがある。家族呼び寄せ移民(Family Class Immigrant)、専門職者移民(Skilled Worker Immigrant)、自営業移民(Self-Employed Immigrant)、企業経営移民(Entrepreneur Immigrant)、投資移民(Investor Immigrant)である。「新移民」は専門職者移民や投資移民が増えたともいわれる。

ここで、「旧移民」の証言を記録しておきたい。前述したバーナビーのノースロード沿いでキリスト教関連図書の販売店を営むAさん(1948年生まれ)とBさん(1954年生まれ)の夫婦である。カッコ内は筆者の補完説明である。

#### 【旧移民Aさん・Bさん夫婦のオーラル・ヒストリー】

ソウルですでに結婚していたが、まず1974年にAが、その1年後にはBがカナダにやって来た。Aは韓国で空軍勤務の管制官であったが、当時、韓国からの外貨持ち出し制限額がわずか200ドルだけだったので、カナダに来てすぐに働くしかなかった。魚を扱う生鮮工場、溶接を行う造船工場、掃除、食堂、クリーニング店などで汗を流した。当時、バンクーバーには韓人が700人ぐらいしかいないと聞いていた。キリスト教を信じているので教会に通った。そこで多くの僑民を知り、お金や食べ物で困ればお互いに助け合った。だからお互いによく知っていた。今と違って面識がなくても擦れ違えば韓人同士は挨拶をしたものだ。今の新しく来た移民は、お金もあるし、英語力の水準がある程度ある人が多いので事情が異なるのだろう。今の教

16) 旧西独には1963～77年に8,395人の炭鉱労働者が、1965～77年に18,766人の看護婦が韓国から3年契約で移住した。契約終了後、そのまま旧西独に残留した者が多かったほか、オーストリアなどの周辺国や米国やカナダに渡った。李光奎、前掲書、203～208ページ。



## 研究ノート・資料

会では、旧移民と新移民の二つに分かれてしまう場合すら見受けられる。新移民からの差別的な視線を感じると言う旧移民もいる。旧移民は苦勞した人が多い。言葉の壁もあった。Aは管制官だったので英語は可能だったが、Bは苦勞した。Aの両親もカナダに来たので一緒に来たのだが、韓国では海外旅行が自由化されていない時代で、外国生活をしてみたかった。シンデレラのようになれるかと頭に描いていたが、言葉の壁もあって大変だった。立派な家が持てて、英語もすぐに出来るようになると思ったが、実際に生活してみると失望することも多かった。白人を見て怖いと思ったこともある。もっと年を取っていたら来なかったと思う。これまでビクトリア、カルガリー、トロントにも住んだが、結局、バンクーバーに戻ってきた。ここは温暖で良い。1988年にバンクーバーのキングスウェイ沿いでキリスト教の書店を開店した。キリスト教を広めたい。週に1～2時間しか教会に行けない同胞に役に立ちたい。こんな気持ちではじめた。ノースロード沿いに移ってきたのはまだ1年ほど前である。韓人が多く住むようになったからだ。韓国には毎年行く機会があるが、その度に異邦人のような感覚になる。なぜならば、もはやこの国（韓国）の人ではないという気持ちが自分たちにはあるし、韓国人も外国から来た人だとわれわれを見て思っているようだから。バンクーバーの韓人社会も、昔のほうがのんびりしていたように気がする。週末はすべてのお店が閉まったので、働く時間もそれだけ少なかった。日本人を見ると同じ東洋人だからかパンガブタ（「光栄だ」、「懐かしい」の意味）という感慨になった。隣の人みたいな感覚で、日本人の側もそう思っていたはずだ。中国人に対しては感じない気持ちだ。いまでこそカナダには韓国食材店がたくさんあるが、70年代はなかった。当時は日本食材店へ行って代替したもので、それだけ食文化も近いということだと思う。二男二女がいるが、子供たちも日本には親近感を持っている。韓日関係には独島（竹島の韓国名）や歴史認識問題などがあるが、双方の政治家が利用しているような側面があって残念だ。キリスト者として韓国と日本の平和な関係を祈りたい。

## 2.2 新移民

次に、「新移民」の証言を2つ記録しておきたい。最初は、バンクーバーのダウンタウンでスモーク・ショップと呼ばれるタバコも取り扱うコンビニエンス・ストアを営むCさん（1962年生まれ）である。カッコ内は筆者の補完説明である。

### 【新移民Cさんのオーラル・ヒストリー】

2001年6月にバンクーバーへやって来た。それまでは韓国で財閥と呼ばれる大手グループ企業の部長職にあった。移民申請は1998年に行なった。なぜカナダへ移住する道を選択したのかと言えば、教育の問題が大きい。息子が一人いるが、カナダで創造力豊かな教育を受けさせたことが最も大きい。韓国の教育は型にはまり過ぎている。もちろん、自分自身の未来のためでもある。自分の人生を整理したかった。そのまま会社に在籍して取締役になってもしょうがない。また、韓国社会の酒文化にも抵抗感があった。会社が終わってから、酒をだらだらと飲んだりする、飲むのを勧めたりする習慣は嫌だった。移民先として米国は考えなかった。

米国は傲慢であり、米国社会は危険だからだ。カナダへは下見のため2回来たが、トロントよりもバンクーバーが良いと考えた。バンクーバーの環境、教育、交通は気にいっている。物価は高いが、街の様子や自然がやさしい。気質は激しくなくて優しい。子供の個人個人にあった教育をしている。共同体の幸せよりも、個人の幸せが優先されているように思う。

移住してから3カ月は定着期間として旅行したりして様子をみた。食堂などで皿洗いして働いてから約1年後の2002年6月からこの店を手がけている。朝7時30分には店を開け、夕方6時には鉄道で数十分離れた郊外のコキトラム(Coquitlam)にあるコンドミニウム・タイプの自宅へ向かう。1.5人分の働きをしていると思うが昼前後には家内も手伝いに来る。帰宅後、スポーツジムやサウナで他の移民とも語らい、夜はインターネットを行なう毎日だ。日曜日は教会へ行く。ここの生活に満足しているので、もう韓国へ帰りたくない。旧移民の方も知っているが、苦勞された方が多いようだ。旧移民への新しい偏見もあるようだが、韓国社会のような地域感情による偏見はない。言葉(英語)以外はあまり苦勞していない。

1981年に延世大学に入学したが、それより以前の76年から80年まで日本にいた。父が外交官であったので、大阪、東京、京都で中学と高校時代を過ごした。山口百恵やオフコースのファンでだった。懐かしいので時々思い出す。日本時代の友人にも会いたいと思う。でも移民先として日本を考えたことはない。そのうち寿司屋の経営をしたいと思うこともある。日本人が来ると日本語を使うが、日本人はうれしがる。バンクーバーでは韓日両国の留学生が知り合って仲良くしている光景をよく見るが、これはすばらしいことだ。韓国人からは、日本人のほうが中国人よりも近いと思う。たとえば、結婚ですが、最初はどの人種同士でも大丈夫だと思ったが、韓国人ならば東アジアの人以外はわかりあえないのではないかと思うことがある。息子がカナダで結婚するとしたら、韓国人か日本人以外では反対するかもしれません。日韓がお互いの関心を持つのは良いが、相手を尊重することが必要だと思う。日本人の側に優越意識はないか。逆に韓国人は日本は自分よりうまくいっているとあまりに思い込んでいないか。若い人の交流はもっと活発であるべきだが、本質を考えてほしい。政治家の行動にだまされてはいけないし、歴史を抜きにして考えてもいけない。過去の歴史認識は重要だ。韓日が本当に良い関係になるためには、両国が偏見を棄てるべきだ。相手を理解する気持ちを持ってほしい。

もうひとりの「新移民」の証言は、韓国紙のバンクーバー支局記者のDさん(1962年生まれ)である。Dさんには自身の話とともに、バンクーバーの韓人社会を取材する記者であるため、韓人移民全般について詳しく話した。カッコ内は筆者の補完説明である。

#### 【新移民Dさんのオーラル・ヒストリー】

1962年に忠清北道清州で生まれ、延世大学新聞放送学科を卒業した。放送局系の広告会社に就職し、2000年にIT企業を友人と立ち上げた。2001年3月に妻だけまずカナダへ渡り、12月に合流した。移民を決めたのは、韓国社会は年金が未整備であるなど老後が不安だからだ。年金

## 研究ノート・資料

制度も整備されたカナダで、環境が良い老後生活を送りたいということが移民した大きな理由である。韓国社会に失望したわけではないのだが、未来がないという不安感があった。カナダの社会は可能性がある。リラックスができる。教育面でもいわゆる「私教育」(塾通いなど)の必要がない。

ここに90年代よりも前に来た韓人移民は次の3時期に分かれる。①70年代に旧西独へ渡った炭鉱労働者が任期を終えた後、カナダへ来た者である。その配偶者として、あるいは独自に西独への契約看護婦もやって来た。②1975年のサイゴン陥落後、ベトナムからやって来た者である。③農業移民として本国からやって来た者である。本国では農業をやっていた者も多く、また学歴も高かった。彼らは少ししてから農業をやめて都市に流出した。90年代、特に1997年の通貨危機以降の移民はいずれも中産層以上で、専門職者移民(Skilled Worker Immigrant)、企業経営移民(Entrepreneur Immigrant)、投資移民(Investor Immigrant)が多いのが特徴である。カナダ全土で韓人は20万人になると思われる。

旧移民の方と接して思うことは、韓国社会は目まぐるしく変化しているので、韓国本国の人の思考方式も変化しているのに、旧移民の方は昔の感覚のままだなあという点です。たとえば、女性としての意識が昔のままなので、若い娘さんの代もその影響を受けています。

韓国の学会は日中米に在住するコリアンだけを研究対象にしている物足りない。日中にいるコリアンは戦前の国際関係の文脈である。在米は出稼ぎ組、留学残留組、アメリカンドリーム追求組(密入国を含む)と、歴史が長く、また層もまちまちである。その点、カナダへの移民は歴史が新しく、しかも中産層だった人が来た。大金持ちもいないが、貧しい人もいない。

カナダは大卒後にすぐフルタイムの職業に就く人は多くないため賃金が安い。移民後の最初の1年間は飲食店などでアルバイトしてからビジネスを始める人が多い。グロッサリー、洗濯店、小さい貿易商などが多かった。2002年頃には韓人移民はトロントへたくさん行った。当時はトロントが3分の2、バンクーバーへ3分の1行くという感じだったが、いまは半々の流れとなっている。カナダ当局の移民審査で、外国語(英語)能力の審査が厳しくなった。2002年1年間で8,000人近かったところ、それ以降は減っている。2004年は2,000人程度だったのではないかと観測もある。市民権を得るためのテストでは100点中で24点が言語の試験である。総合点数の合格点が65点とした場合、その比率は小さくなく韓国人には不利である。市民権を得るには6年間のうち通算3年間ほど住まなければならない。「人口が国力だ」ということでカナダの人口は移民の流入によって毎年10%が増えている。少子化が進んでおり毎年25万人増えていることになる。1980年まではヨーロッパからが中心であったが、80年以降はアジアからが増えている。

移民としてここに定着しようとしたが、父親だけが帰って母と子供の「キログ家族」になった例もある。バンクーバーの韓人は5万人で、うち留学生が2万人であると思う、これは児童の「初期留学」やESL(English as a second language 第2言語としての英語)の教育を含んでいる。ESLは通貨危機以降に英語を条件とするところが増えてきたため多くなった。

バンクーバーに来た韓人はダウンタウンに定着する地域がなかった。これがシカゴやトロント

トとは異なる点である。チャイナタウンも地域が強制されていた。バンクーバーでは西が白人、東がアジア系という住み分けがある。韓人の商圈は、キングスウェイ、メトロタウン、漢南スーパーがあるノースロードと移ってきた。漢南スーパーができて、そして1年前にハナルム・マートができた。

韓人移民の問題点のひとつはカナダで政治力がないことだ。BC州では中国人のパワーが強い。小さい行事でも中国人主催のものならば州幹部が出席する。中国移民の次は日本移民が優遇されている。BC州は投資移民が増えればよいと思っている。州議会にも、連邦議会にも韓人議員がいない。だから政治圏に韓人社会の声が届かない。

韓流の影響は当地でもある。ドラマ「秋の童話」や「冬のソナタ」に関して、日本人や中国人から聞かれることがある。テレビやビデオで見ているようだ。チャイナタウンのビデオショップには韓流のものが席巻している。中国人から「秋の童話」を見て韓国語を学びたいという相談を受けたり、「ドラマの言語でウリチップ（韓国語で「わが家」の意味）という言葉がよく登場するが何を意味するのか」という電話も受けたことがある。バンクーバーの中国人も日本人も韓国ドラマを通じて韓国に親近感を感じているようだ。バンクーバーに韓流芸能人をボランティアで呼べないものかとチャリティー団体と話しているところである。中国人コミュニティへも強いインパクトになるはずだ。韓人社会も社会に寄与すべきである。韓人社会も日系文化センター（2000年に完成した日系人の憩いの場であり、他の民族との交流の場にもなっている）のようなものが必要である。韓人社会も韓人だけでは生きられないのである。

カナダの市民権を得ても、自分が韓国人ということは変わらないと思う。韓国への強いアイデンティティも持っている。国籍と民族は別だと思う。それと同時に、20歳の頃に戻りたいと思っても、韓国に戻りたいとは思わない。両親の顔を見たいと思う以外は、韓国に帰りたいとは思わない。

ここには北韓（北朝鮮）に故郷を持つ「以北五道民会」（現在は北朝鮮地域の行政区域に編入されている5つの道が本来故郷である韓人の親睦団体）がある。カナダと北韓は国交が樹立されているので、北韓へ行ける。このために移民に来る人もいるぐらいだ。

ところで、私と日本の関係を言うと、1989年に韓国で海外旅行が完全自由化した際、釜山から飛行機で福岡へ行き、博多からジャパン・レールパスで東京へ行った。東京駅、原宿駅などおもしろいことがたくさんあった。「道をきれいな女に聞くと親切に教えてくれる」という話を聞いたが、実際に実行してみるとにそうであった。韓日関係は国と国では問題があっても、人と人の間は仲が良い場合が多いので心配していない。

### 3. 在バンクーバー日韓留学生の F G I

#### 3.1 韓国人留学生

カナダの主要都市では英語の語学学校に通っている日本人や韓国人の姿をよく見か

## 研究ノート・資料

けるが、別々に行動しているのではなく、仲良くしている光景も目立つ。筆者は、バンクーバーで知り合った留学生（20代の女性）たちに協力してもらって、韓国人だけで「日本・日本人」をテーマにするF G Iを、日本人だけで「韓国・韓国人」をテーマにするF G Iをそれぞれ開いた。

両F G Iを実施して共通して言える点は、何人だと意識せずに付き合ったが日韓があまりに似ていることへの驚き、好意的印象のほうが強いの点、言葉を教えあうことが印象にある点、アジア人としての意識がある点などが共通していることがわかる。韓国人対象の場合、「日本人はホンネとタテマエが異なる」という韓国社会で見られるネガティブなステレオタイプの日本人観からは脱しており、「礼儀正しい」や「他人のことを考える」という（ある意味でこれもステレオタイプのだが）ポジティブな日本人観を多く口にしていることが特徴的である。司会進行を行なった筆者が日本人であることを割り引いて考えなくてはならないが、話の展開や筆者との距離から考えて、本心に近いものであるとあってよい。

両F G Iは竹島領有権や歴史認識問題など外交面で日韓関係が悪化する頃に開いたが、いずれからも、感情的な発言は見られなかった。F G I実施当時、竹島問題で緊張状態にあることを韓国留学生側は全員認識していたが、日本側は誰も知らなかった。留学生の本国に関する情報源は、インターネットであるが、同問題を韓国メディアのホームページのほうが日本のメディアよりも大きく扱う点、そもそも日韓間の諸問題に関しては韓国の若者の敏感に関心を示す点などが背景にあると思われる。また、韓国人の対日観に関して、日本の振る舞いのほかに、韓国社会にもそれをネガティブにする要因があることを指摘する声も聞かれた。

まずは、韓国人のF G Iの記録だが、いずれも20代の女性で韓国の大学を休学して語学留学に来ている。ここではいずれも仮名で金（訪日経験あり）、李（経験なし）、朴（同）としておく。

### 【韓国人留学生の「日本・日本人」に関するF G I】

——付き合っている日本の友達を信頼できますか？

朴：（日本人の場合はここに来てみると）外見は変わらなくても文化が違います。なんというか、韓国人は私がしてあげた分、してもらえようだろうという思いが強いんですね。ところが、日本人は違う。それで私が傷ついたことも多いです。例えば、「日本人の友達にこれぐらいしてあげたから、その人も私にこれぐらいはやってくれるだろう」と、韓国式に期待しがちですね。しかし、日本人は自分たちの文化の方式で考えるから、そういう文化の違いでひとりで傷ついたことが多い。以後は心をなかなか開けなくて、今自分の気持ちを全部話せる友人は2,3人程度

です。

——韓国と日本は同じアジアの人ですから、互いに理解しやすい面もありますよね？

金：（非アジア圏の学生と）学校内では仲良くします。ただ小旅行などをする場合ははっきり二分します。アジア人はアジア同士で、メキシカンは一見の似た者同士で行動します。

——その中で日本人や中国人との場合はどうでしょうか。

朴：ここに来る台湾や中国の人々はある程度自信を持っています。ここに来る台湾人、中国人は裕福な人々なんですね。彼らが英語で話すのを見ると、自信に満ちたような態度が感じられる。それを見ると「あの子何なの？（みっともない）、自分一人自信満々で」と思いますね。一方、日本人はいつもニコニコしていて、人の話を最後までよく聞いてくれて、自分のこともしっかりしているし、礼儀正しい。

金：私がここに来て思ったのは、日本人と韓国人は驚くほど似ているということです。韓国人が一時日本の支配を受けたからかもしれないけど、教育の面、思考方式などがすごく似ていて驚きました。日本人なのか、韓国人なのか意識しないときもあるくらいです。

——皆さんは日本人と話をしていて、楽しく話しやすいと思いますか？何かしっくり来ないと思うのか、それとも話しやすいと思うのか。李さんはどうですか？

李：文化の違いかもしれませんが、日本人と一緒に飲んでいると、会話を楽しむ人が多いですね。それも気が楽でいいと思います。韓国では飲むとき「おい、飲め、飲め」と強要される場合がありますが。日本人のそういう面もいいと思うし、私は何より日本人はよく笑って明るい面が多くていいと思います。だから他の国の人より、近づきやすいですね。

金：話しやすく、楽しくて、感性が合うというか、そういうのが合うから話しやすく面白い。同じですね。韓国人同士でも感性が合わないときもあるでしょう？（日本も韓国も）全般的に互いに完全にオープンするよりは、ある程度少しは遠慮して、気を遣うから大きなトラブルもなく、互いに感性の合う者同士のように、順調にいけると思います。

朴：文化的な違いから来る気安さというよりは、日本人の知り合いが多くないからかもしれないけど、日本人は礼儀を大切に、いやなことがあっても表に出しません。私はそういうのは嫌いですね。しかし、私と同じ学校に通っている日本人はこれまで聞いていた日本人のイメージとは違います。いつも申し訳なさそうに行動するのではなく、自分の意思表示もある程度できます。韓国では「あんた、殺すわよ（ノ チュゴ）」という冗談を友達同士でよく言いますが、日本人はそれに驚くらしいですね。ところで、日本人と一緒に遊ぶとき、彼らとも「あんた、殺すよ」といった冗談をいうときもよくあります。日本の友達もそれが韓国の冗談ということを理解して一緒に楽しんでいる。

——日本人から教えてもらった日本語はありますか？

李：たくさんありますが、ほとんど忘れてしまいました（笑）。同じ意味、同じ発音の単語がありますね。例えば「図書館」、「茶道」、「微妙な三角関係」などなど、たくさん教えてもらいました。「不思議だね」、「同じだね」と言いながら……。

金：最近は日本語でスラングを言うのにはまっています。あれ？ たとえば「ワタシノコト、

## 研究ノート・資料

キレイ」「ボランティアナノ アナタ ドウスル?」、「キョウ ワタシ カエリタクナイ」……。こういうのを覚えて学校の日本の男の子に使います。とても受けますよ。

——日本人に教えてあげた韓国語は何がありますか？

金：「時間ある（シガニ イッソヨ）?」、「あなた、私のこと好き?（ノ、ナ チョアヘ?）」、「私、今夜帰りたくない（ナ オヌルバム チベ カギ シロ）」

——日本人と韓国人の違うところについて話してください。

朴：日本の男性は韓国男性とかなり違います。（男女間の）先輩・後輩としての関係は、韓国も日本も男性の態度ってほとんど同じ。でも異性関係において日本の男性はとても消極的です。韓国男性は彼女と手をつないで、肩を抱いてあげたりしますよね。日本男性はそういうのが恥ずかしくてできません。手をつなぐのも恥ずかしがるし。

金：私の（女性の）友人の一人は米国に留学しましたが、そこで日本人の男性と付き合いました。多分二人で同棲したと思います。韓国に一緒に来たのですが、日本語も英語も上手だった。ところがその二人、（いちゃいちゃぶりが）半端じゃなかった。それは日本の男性だからではなく、人によって違うと思います。韓国の男性でも小心者は多いですから。

朴：周りの話を聞いてみると、日本の男性は恋愛のときも結婚後も変わらないですが、韓国男性は結婚すると態度が一変するそうです。だから（韓国女性が）日本男性を好きだと。

——そうですか。では、似ている点は何ですか？

李：一緒に行動するのが好きだと思います。違いますかね。

金：話せば通じるし、私の話にも耳を傾いてくれて、話に通じるから。私が何かを話すとき、相手が黙っていると会話になりませんが、私が一言いうと相手からも反応があって時間の経つを忘れて話し込んでしまって、「私と同じように考えているんだ」と感じます。

——日本人が韓国人と違うところは他に何がありますか？

李：日本人は性に対して開放的だと思います。私が住んでいるアパートに日本の友達が2,3人いますが、その一人は（将来を約束した）彼氏でもない、ただの男の友達なのに。一緒に寝ると聞きました。もちろん、それぞれ彼氏と彼女がいます。家族と一緒に住んでいないからかもしれません。性に対して日本のほうがもっと開放的だと思います。

——そういう面があるかもしれませんね。

李：韓国社会は性に対して保守的ですね？ 韓国では結婚するまで貞操を守るという女性も多いです。私が見る限り約4割はそうだと思います。逆に言えば韓国では性について隠し事が多いと思います。韓国の女性は性問題についてオープンにしないですから。だから相対的に日本の女性が開放的かもしれないと思います。

金：ある外国の男性が韓国の女性はdangerousで、strongだから日本の女性のほうが好きだと言っていました。おかしい話でしょう？ この話を日本の友達に言ったら、自分としては韓国女性より日本女性のほうがもっとdangerousだということです。男性は（外国人であれ、韓国人であれ）日本の女性に対する幻想がある。おかしいと思います。

——韓国人と日本人の共通点は何がありますか？

李：皆で一緒に遊ぶのが好きだと思います。お酒の席では初対面の人でもすぐ仲良くなって友達になるし……。人が好きなんですね。

——ここに来る前、日本人に対してどんな誤解を持っていましたか？

朴：日本は韓国人からすれば、安心できる。韓国とは歴史的に深い溝はありますが、個人的には日本が好きです。日本人に対して友好的です。礼儀正しいから好感が持てるし、日本文化も興味深い。韓国でもアニメやドラマがたくさんありますが、日本は歴史が長い。

——否定的な面は？

朴：政治的、歴史的な面ではどうしても。「独島問題」、「総理の靖国神社参拝問題」を見てもそうです。日本人は自分たちの立場ばかり固持しているような気がします。

——金さんは？

金：ここに来るまでは、「日本人は親切で清潔でよく笑うけど、ホンネがわからない」と思っていました。しかし、そうじゃないと思います。

李：一言で日本人に対してこう考えている、というよりは、日本の文化を「低俗」だと思っていました。私は韓国社会の情緒がそういうふうに作り上げてしまった面があると思います。日本にはいいものも多いけど、(韓国内では)想像を絶するような暴力的で扇情的な映画でばかりを見せてくれる。その反面、高校時代流行っていた「non-no」というファッション雑誌を見て、「日本のモデルは可愛い」とも思ったし、日本ファッションについて高く評価していました。

金：私と一緒にだね。

——ここに来て、日本に対するイメージがどのように変わったのでしょうか？

朴：何を考えているのか分らないと思ったのですが、今は違います。韓国人と同じ。だから驚いています。感性が合っているからかとても親しみを感じます。私はいい方向に変わりました。日本の友達に色々聞いてみました。気になっていたこと、独島の話もして、私が知りたかったことを聞いて「日本人は皆そう？」というふうに聞いたり。

李：私も朴さんと同じようなことを聞いたことがあります。

——そういう話をしてかえって互いに関係が悪くなったりはしませんか？

朴：そういうことはありませんね。

——日本の友達の行動パターンを見て面白いと思ったところはありませんか？

李：日本の女の子は嫉妬深い人が多いと思います。クラスで私が先生に誉められたことがあって、嬉しくて「サンキュー」といいましたが、隣にいた日本の女の子が面白くないという表情をしていました。

——他にはどうですか。

李：私の兄が日本の女の子と付き合っていて、うちに遊びに来たことがあります。兄と私が料理をつくりましたが、正直まずかった。日本人は少食でしょ。私たちは韓国式に彼女のご飯も大盛りにして、「美味しくなかったら残してもいい」と言ったけど、彼女は「美味しい」といって全部食べました。礼儀だと思ったでしょうね。とても申し訳なかった。



## 研究ノート・資料

金：韓国人なら無理してまで食べませんね。日本人は他人がどう考えているのかをいつも配慮しているみたいです。

——日本人のそういう行動様式を見て見習いたいと思いますか？

朴：日本人は何かをもらおうと、すみません、というし、ありがたく思う。私の誕生日にもいつも訪ねてきました。私が他の友達と内緒話をしているようだったら、しばらく席を外してくれます。そういうことに関して配慮深いと思います。

金：日本人はありがとう、ごめん、とよく言います。韓国人はありがたいと思ってもあまり表現しませんね。日本人は小さなことに対しても「すみません」というし、ありがたいと思うときも「すみません」というから、「こういうときになぜすみません、というの？ありがとうと言えればいいじゃない」と私が言ったこともあります。

李：金さんの話のように。日本人は礼儀正しいのが度を過ぎているような気がします。

——日本人の行動を見て韓国人と違って距離を感じたことはありませんか？

金：あまりにも似ています。

——日本人とここで政治的な話や歴史認識に関する話をしたことがありますか？

金：韓国の友人が日本男性の主催するパーティーに行ったそうですが、日本人が韓国人に対して「チョーセンジン」という表現を使ってショックを受けたみたいです。それで私が聞いてみたのですが、北韓の人を「朝鮮人」、韓国の人を「韓国人」と言うそうです。

——今は、独島の問題で韓日関係が多少緊張状態にあるということ、ご存知ですね？

一同：はい、知っています。インターネットで知りました。

——おとといは韓国では「三・一独立運動記念日」でした。日本人と会話するとき、それを意識しましたか？

金：そういうのはほとんど意識していません。

朴：知っていてもそれと日本の友達とは関係ないと思います。

金：私たちが直接経験したことでもないし。

——「韓流」についてどう思いますか？

金：いい現象だと思います。私が聞いた話では、韓流ブームで稼ぐ収入も莫大なものだけど、日本人の対韓認識も変わって、見方も変わったので、在日韓国人の意欲も高まったそうです。そういう面では特に悪くないと思います。

朴：収入も上げていいことも多いですが、海賊版などの問題。芸能人の名声は高くなったけど。チェ・ジウは「ジウヒメ」と呼ばれているでしょう？あるマスコミではスキャンダルまで載せたりして、イメージが悪くなる面もあると思います。

——李さんは韓流について何かご意見ありますか？

李：韓流が悪いとは思いません。

——日本人と話すと同じアジア人だという感覚がありますか？

金：当然ありますね。アジア人には本当に親しみを感じます。外見も似ているから警戒心もあまりありませんし、韓国人に話すような感覚です。外見が違っていると気が引けますね。

——以前は日本人との接点がなくて、ここに来てからある程度親近感ができましたか？

朴：そうです。当然外国人だし、遠い存在だと思っていましたが、「同じアジア人なんだ」と痛感します。

——日本人と知り合って、韓国へ帰国してから日本人に会うとどんな感じでしょうか？

朴：ここで勉強してから韓国で日本人に会うと確かに違うでしょうね。

李：やはり関係があると思います。私に日本人の友達がいなかったとき、韓国で日本人を見てもなんとも思わなかったですが、今は親しみを感じると思います。

金：私は韓国にいたとき、友達の影響で日本旅行もして日本のテレビ番組もたくさん見ていたから、ここで日本人に会って嬉しかった。韓国ではそうでもなかったのですが。なぜなら、韓国にいる日本人がほとんど買い物する女性ですね。それは韓国人にとって違和感があります。ここで会うと一緒に勉強して文化も理解できるから嬉しいし、韓国に戻ってから日本人を見ると多分違和感よりは「私と同じ学生かも」と思うかもしれません。

——韓日関係の葛藤解消に何が必要なのか一つずつ提案してください。

朴：韓国の若者は日本に関心が高いです。日本文化も知りたい、日本にも行ってみたいと思う人が多い。日本に行く機会が多くなるとその分近い関係になれると思います。両国間の懸案問題が政治的にうまく解決されると、韓日関係はこれ以上悪化することもなく、友好関係が維持できると思います。

李：小・中・高校時代、歴史の授業で日本に対する否定的な内容を勉強したから、日本に対する認識も良くないと思います。悪いイメージを持つように敵対感の教育を受けてきたような気がします。日本に対する認識が変わるには、まず教育などが変わる必要があると思います。

金：歴史的に韓国人は日本人を軽く見ていると思います。日本人をけなすのは全世界で韓国しかないそうです。私は日本という国はすごい国だと思います。韓国人の認識では、過去の歴史のために、いいことは受け入れなければならないのに、それさえも蔑んだりする。良いものは見習うべきだと思います。

### 3.2 日本人留学生

一方、日本人は韓国人をどう見ているのか。いずれも20代の女性であり、ここでは仮名で田中（訪韓経験あり）、前田（同）、吉田（訪韓経験なし）としておく。

#### 【日本人留学生の「韓国・韓国人」に関するFGI】

——韓国人でよく話す友達は何人いますか？すぐに仲良くなれましたか？ほかの国の人と比べてどうでしょうか？たとえば中国人とは？

前田：クラスが日本人と韓国人だけのクラスだったので自然と話すようになりました。

吉田：韓国人とは食事のときに仲良くなりました。中国人はあまり多くはない。韓国人と知り合うのは、韓国人だからというよりも個人との接触であり、国を意識したことはあまりありません。

## 研究ノート・資料

田中：さまざまな点で似ているので韓国人とは親しみやすく話せるのではないのでしょうか。

——韓国人と話していて楽しいことやラクなことは？

田中：英語で話して、言葉が通じる喜びを感じます。(吉田と前田も同意)

——教えてもらった韓国語は？

(各自で出し合いながら)「ペガ コッパヨ (お腹が空いた)」、「ナ (わたし)」、「ノ (あなた)」、「ネ イルムン A イムニダ (わたしの名前はAです)」、「サランヘヨ (愛している)」、「シガ ニ オプソヨ (時間がない)」

——教えた日本語はありますか？

(各自で)「私のこと好き」、「この後、どうする」、「私は帰りたくない」

——韓国人と日本人はここが似ていると思う点は？ここが違うと思う点は？

吉田：言葉が似ている。漢字語でいくつか近い言葉がある。

前田：(違いとして韓国人は) 食事で少ないものでもあまり遠慮なしで食べることがある。

田中：(違いとして韓国人は) 食事の際にみな立っていることがある。

——いままでの韓国人に対するイメージは？

吉田：関西人のようなサバサバしたイメージがありました。

前田：厳しいイメージ。家の中で厳格に育てられる。ドリンクの注ぎ方などは手をもう片方の腕を持って行う。

田中：在日韓国人の友人がいるので、彼らの肩身が狭そうなイメージ。

——実際に話してみても変化した点はある？行動様式を見ておもしろいと思う点は？

全員 時間を待ってくれる。たとえば食事のときでも、待ち合わせのときでも、みな待っている。やさしいですね。

——彼女らの行動様式を見て学ばなければならないと思う点は？

前田：人の名前でも、ちょっと言ったことでも、覚えが早いと思う点。

吉田：人に対してやさしいなあと感じる点。

田中：思いやりがある点。家族のことをよく話題して、思いやっているようです。

——彼女らの行動様式を見て違和感を覚える点は？

全員：あまりない。

——彼女らと政治や歴史認識の話をしたことがありますか？あるとすればその感想は？韓国人と話していて歴史問題を意識したことは？

全員：ないです。

吉田：ただし、愛国心のことが話題になったことがあります。英語の講義の中で戦争が起これば国を守るために死ぬるかといったことが話題になった際、私は「絶対に嫌」と言ったところ、韓国人たちはそうではなかったです。

——いま竹島の問題で日韓が緊張しているのを知っていますか？

全員：知りません。

——韓流をどう思うか？

前田：韓国のドラマや映画は純粹すぎる。

田中：やや騒ぎすぎという感があります。

吉田：私の親戚でもはまっている人がいます。私も「猟奇的な彼女」が好き。ストーリーとしておもしろい。

——日韓関係の発展のためには何が必要だと思いますか？

吉田：もっと密なコミュニケーションをとっていくべきだと思います。これだけ近い関係だということを多くの人々に知ってもらいたい。

前田：日韓関係に限らない話だが、日本人が韓国へ、韓国人が日本へと、お互いの国をもっと訪れて、知るべきです。

田中：両国の人々同士が良い関係を構築していても、限界をがあるように思います。政治面や在日韓国人をとりまく状況も、民間人も取り組んでうまくやっていくべきです。

### 結びにかえて

ここまでカナダの韓人に関する統計的概観、新旧韓人移民のオーラル・ヒストリー、在バンクーバーの日韓留学生のF G Iを記録した。

相互の直接的なつながりは希薄なものの、カナダ・韓国両国の社会と韓人移民の関わり合い、部分的ではあるが彼ら／彼女らへの日本への意識、バンクーバーに滞留する日韓両留学生の相互意識を読み解くメモランダムを構成できたと思う。

カナダから見た日韓関係を、バンクーバーの韓人（留学生を含む）はどのような視点からとらえているのかが最大の関心事であった。カナダは隣国の大国である米国と社会体制や理念が共通し、国際社会のなかでもきわめて成熟した隣国関係のように見える。ところが、外交政策では異なる姿勢を両国は見せることがあるし（たとえば米国が主導するミサイル防衛構想にカナダは2005年2月に不参加を表明した）、延々と伸びる両国の国境線では（特に9・11米同時多発テロ事件以降）厳格な出入国手続きが行われる。カナダ人は米国の大衆文化を自国の文化のように享受しつつも、その対米感情には愛憎半ばするような面も感じられる。こうした米加関係は、日韓関係とも似ている面もあるし、異なる面もあるように思う。

日韓両国から遠く離れた土地から、過去の歴史認識問題に厳しい視線を向ける一方で、日本人を見たら懐かしさすら感じるというアンビバランスな感情も韓人移民の発言から読み取れる。第三国での日本人との直接接触であるゆえに、日本人と日韓関係を冷静に見つめる韓国人留学生の視点も垣間見えよう。